

地区広報 藝術の森

第4号

平成18年1月28日

発行 地区広報芸術の森

編集委員会

印刷 岩橋印刷株式会社

題字 平澤博



新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり謹んでご挨拶申上ります。

日頃より芸術の森地区の皆様には、南区のまちづくりの推進に特段のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、札幌市の財政は、かつて経験したことのない厳しい状況に直面しております。この難局を乗り越えるためにも、これまで以上に市政に関する情報の提供は勿論のこと、対話を通して皆さんの意見や思いをしっかりと受け止め、地域の皆さんと共に知恵を出し合ながら、素晴らしいまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

平成十七年は、芸森連町の創立十周年記念式典が催された節目の諸行事も多い年でありましたが、皆様方のご協力によりまして成功裡に終えることができました。心から厚くお礼申し上げます。

謹賀新年

芸術の森地区町内会連合会
会長 高橋稀一

芸術の森地区青少年育成委員会
会長 前口敦司



イルミネーション（加藤宅）

年頭のご挨拶

札幌市南区長 立石 彰

ますことをご祈念申し上げる次第でございます。

さるには今年の四月、ここ芸術の森地区に、デザイン学部と看護学部からなる待望の「札幌市立大学」が開学いたします。また、皆様にもおなじみの札幌芸術の森はオープン二十周年を迎えます。

このような記念すべき年を迎えるにあたりまして、地域の皆さんと新たに生まれる大学、そして我々行政が互いに響きあいながら、大ジョンの策定に向けて多くの住民の方々による議論が鋭意展開されていると同っております。これからも、この地域の持つ魅力を最大限に生かしながら「人と自然に優しい文化推進の里づくり」を、地域一丸となって邁進されていかれ

ます。新たに生まれる大学、そして我々行政が互いに響きあいながら、大ジョンの策定に向けて多くの住民の方々による議論が鋭意展開されていると同おります。これからも、この地域の持つ魅力を最大限に生かしながら「人と自然に優しい文化推進の里づくり」を、地域一丸となって邁進されていかれ

やませみの眼

☆昨年は、奈良県で、今年は広島県と栃木県で、小学生が拉致され殺害された。

☆事件は（栃木県は未逮捕）異常者の犯行である。奈良と広島の手口は、子供に言葉巧みに言い寄り、子供を安心させ、車や部屋に連れ込み性的虐待を加えて殺害、ごみを捨てるように無造作に遺棄している。

☆子供は防犯ベルをつけていますが、ベルの紐を引ける雰囲気ではない、驚きと恐怖に戰っているうちに暴行され殺害されたものと推測できる。

最後になりますが、芸術の森地区内会連合会をはじめ、各種団体の益々のご発展と、皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

☆対策は簡単でないが、まずは、子供に自衛力をつけさせることである。「〇〇に行こう」と誘われた時に「嫌」と答える訓練をすること、性的異常者は、誘拐犯と異なり暴力で拉致することは少ない。

暴力的拉致には「ウア」と大声を上げ、相手がひるむ隙に「助けてー」と叫ぶことが効果的とされている。

☆次に地域の力で犯罪の抑止力を高めることである。芸術の森地区的三小学校区で「子どもを見守る会」の結成が進んでいる。一人でも多くの人が参加し、一日も早く活動が開始されることを願つてい

芸術の森地区町内会連合会は 創立十周年を迎えました

石山連合町内会より、平成七年四月に分離独立し芸術の森地区町内会連合会（以下芸森連町と略）が誕生し十年を経過しました。

ここでは、十年間のあらましについて紹介することにいたしました。

◆創立十周年記念誌の発刊

七名の編集委員（圓口明編集委員長）皆さんのご努力により全二十四ページの記念誌を発刊することができました。

主な記事は、写真集（八ページ）と芸術の森地区の概要、芸森連町十年の歩み、構成町内会の素顔、芸術の森地区の沿革、芸術の森地区発展小史などの構成となっていました。

記念誌に特徴を持たせるため、次の点に重きを置きました。そのひとつは多くの先人が築いてきた当地区的歴史であり、二つめはこの十年間で連町が重点として取りあげてきた事業と行事があります。地区内の各家庭には、全戸に配布しておりますので、ご参考にして頂けますと幸いです。

◆記念式典ならびに記念祝賀会
十月十五日芸森会館大会議室に



創立10周年記念誌表紙

方々、単位町内会の三役など大勢のご出席を頂き盛大に記念式典が挙行されました。

式典では、芸森連町高橋稀一会长の挨拶の後、札幌市南区長立石彰様と北海道議会議員丸岩公充様より祝辞があり、旅菓のうちに終了しました。

祝賀会では、アトラクションとして稲翠流詩吟札幌心玲会村上謙華を添えて頂きました。

◆芸森連町が誕生後十年の歩みを別表に纏めました。これによると、芸術の森に相応しく平成七年より文化祭、翌八年より音楽祭が開催され、この行事は現在も続いているります。また、平成九年から十年にかけてまちづくりビジョンの策定が行われました。

芸術の森地区まちづくりビジョンとして主題を「人と自然に優しい文化推進の里」とし、次の三つの視点①自然、②文化、③福祉を取りあげております。

このまちづくりビジョンに沿って、平成十四年より文化マップの作成に取組み、人物編、景観編、地域活動編の三編ができあがりました。

さらに最近では、新たに地域の方々より広くご意見をお聞きする手段として、様々なテーマによるワークショップを開催しております。「美しき里」をつくるためにわたくちに何ができるか（平成十七年二月実施）。「安全・安心ふれあいのまちづくり」を当面の課題とし、ビジョンの見直しも検討に入っているところです。

◆むすび
十年間を省みると、当初は芸術の森地区に相応しい事業の実施、続いて当地区的ビジョンの策定、後半はビジョンに沿った文化マップの作成に取組んできました。今後は安全、安心ふれあいのまちづくりを当面の課題とし、ビジョンの見直しも検討に入っているところです。

（A・S）

●は地区広報・芸術の森
H9検討開始、H10策定
H10準備、H11完成
人物編・景観編・地域活動編
H16.4ホームページ立上げ
地域を美しくする話し合いの集い等
地区会館前・アバホテル前の街頭啓発
ワークショップより展開し実践へ移行
単位町内会毎に実施
いも掘り祭りを開催
H17で第11回を迎える
H17で第10回を迎える
H7常盤小学校で開催後石山東小と交替実施
H7常盤小学校で開催後石山東小と交替実施



札幌市南区立石区長挨拶



芸森地区町内会連合会高橋会長挨拶

芸術の森地区町内会連合会10年の歩み

過去10年間の連町主催の主な事業ならびに行事は次のとおり。

主な事業ならびに行事	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	備考
広報紙「やませみ」「芸術の森」発行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●は地区広報・芸術の森
街づくりビジョンの策定			○	○								H9検討開始、H10策定
芸術の森地区ガイドの作成				○	○							H10準備、H11完成
文化マップの作成								○	○	○		人物編・景観編・地域活動編
GNC・ホームページの立上げと運営									○	○	○	H16.4ホームページ立上げ
ワークショップ、ミニワークショップの開催										○	○	地域を美しくする話し合いの集い等
交通安全啓蒙、啓発活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地区会館前・アバホテル前の街頭啓発
防犯、防火の啓蒙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ワークショップより展開し実践へ移行
ごみステーションパトロール等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	単位町内会毎に実施
森の仲間の交流会									○	○	○	いも掘り祭りを開催
芸術の森地区文化祭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H17で第11回を迎える
芸術の森地区音楽祭			○	○	○	○	○	○	○	○	○	H17で第10回を迎える
芸術の森地区市民運動会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H7常盤小学校で開催後石山東小と交替実施
芸術の森地区ソフトボール大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H7常盤小学校で開催後石山東小と交替実施

芸術の森地区社会福祉協議会(福祉のまち推進センター)

平成十七年度第一回理事会開催

平成十七年十月三十一日(月曜)
午後六時三十分から芸術の森
地区会館において、平成十七年度
第二回理事会を開催し、伊藤会長
の力強いあいさつのあと、各部の
中間報告がありました。

(イ) 情報啓発部

え、参加者も多くなり、大変喜
ばしい事だと思つております。
(1) 本年度の予定は全て消化いた
しましたが、ほかの専門部と協
力して出来る事があれば共にやつ
て行きたいと思つております。

(ハ) ふれあい部

主な内容は、本紙第三号に掲
載済み。

(1) 南区民児童委員・地区社会福祉
協議会活動者合同研修会に参加
しました。

(2) *研修日・九月二十日(火)十四
時三十分～十六時三十五分
*場所・南区民センター二
階(区民ホール)

*テーマと講師
【民生児童委員・地区社会福
祉協議会(福祉のまち推進セ
ンター)活動における個人情
報の取扱に関するポイント】

札幌総合法律事務所
弁護士 石川 和弘氏

*資料とプロジェクトを用い
て具体的な説明があり、「個
人情報の保護に関する法律」
の施行に伴い、事例によりわ
かりやすい解説がされ、特
に、「默示の同意」など従来
から慣例的に行われているも
のは、容認するなど今後の活
動に非常に参考となりまし
た。

(ロ) 調査研修部

1、経過報告

(1) 広報紙「芸術の森」第三号を
七月三十日に発行しました。

2、実施計画

(1) 広報紙第四号及び特集号の發
行を予定しています。

2、実施計画

九月十六日に参加者二十四名
にて芸森地区会館を出発し、仁
木町大野園においてぶどう狩り
と昼食をして、そのあと余市町
のニッカウヰスキー北海道工場
を見学して無事帰着しました。

三月までにもう一回事業を行
うため計画しております。

1、経過報告

(1) 一人暮らしの高齢者及びご夫
婦のみでお暮らしの高齢者の生
活実態アンケート調査を実施。
地区民児童委員の協力を得て実
施致しました。近く各資料の内
容を精査し、広報紙芸術の森に
掲載する事を考えています。

(2) 積丹半島神威岬散策、岬の
湯、及び禅源寺(五百羅漢図)
見学研修の旅実施。

芸術の森地区に居住する高齢
者のひきこもりを解消すると共
に参加者の見聞を広め、常に健
康に過ごして戴けますことを目
的に右記見学研修を九月三十日
に実施しました。参加者は五十
名でした。近年高齢者が増



もりの仲間の交流会・いも掘り

(1) 福祉ボランティア活動の推薦

2、実施計画

もりの仲間の交流会・いも掘り



12月21日(水)クリスマス子育てサロン

おもてなし

（担当）朝岡副会長

(ハ) もりの仲間のこまおか朝市
（担当）野中副会長

本年の春保養センター駒岡に

おいて朝市を開こうと言う話が

あり、準備がどんどん拍子に進

み当芸森社協と札幌市保養セン

タ駒岡の共催による朝市を六

月二十六日に第一回目を開催致

しました。その後は、毎月第二、

第四日曜日九時三十分より開催

し、大変好評のうちにボランテ

ィアの方も頑張って運営をして

ます。例年十二月から実施されます
福祉除雪については、福祉推進
員の方々の積極的参加をすすめ
ると共に今後も協力員の登録を
つくり、円滑な活動を図つて行
きます。

(1) 福祉推進員及び地区社会福祉
協議会活動者合同研修会に参加
しました。

*研修日・七月二十五日 十八
時三〇分より芸森地区会館、
出席四十三名

*テーマ・今地域に求められて
いるもの

(2) 福祉推進員及び単位町内会福
祉担当者との交流会の開催
十一月下旬頃に調査研修部と
共催で行う予定

(3) その他の報告

(イ) もりの仲間の交流会
（担当）安藤副会長

昨年に引き続き今年も常盤児
童会館横の畑を借用して芋の作
付けを行い、児童会館の協力を得
て開催致しました。五月二十
日畠おこしを行ひ三十日種芋
植、順次草取り、土掛け等を行
い、九月十日に芋ゆで、ゲーム
その他を催し楽しい一日を過ご
しました。参加者一五〇名でした。

(ロ) もりの仲間の子育てサロン
（担当）館岡副会長

前回の理事会で報告致しました
た南区老人福祉センター内の芸
森社協の事務所内に子育てサロ
ンを四月二十日にオープン致し
ました。

当初毎月第三水曜日開催とし
ましたが、要望が多くなり毎月
第一、第三水曜日の二回開催す
る事になり、現在ボランティア
の方も含めて頑張っております。

(ハ) もりの仲間のこまおか朝市
（担当）朝岡副会長

本年の春保養センター駒岡に
おいて朝市を開こうと言う話が
あり、準備がどんどん拍子に進

み当芸森社協と札幌市保養セン

タ駒岡の共催による朝市を六

月二十六日に第一回目を開催致
しました。その後は、毎月第二、

第四日曜日九時三十分より開催
し、大変好評のうちにボランテ

ィアの方も頑張って運営をして



もりの仲間のこまおか朝市

青少年育成委員会 研修懇談会

昨年十月五日(水)常盤中学校において四十五名の参加者で研修懇談会が開催されました。各小学校の校長・教頭・総務の先生方、PTAの役員の方、主任児童委員、中学校ごろの教室相談員、健全育成推進会長、また地域振興課の方々、そして南区少年育成指導員のお話から六グループに分かれ意見交換をし、初めての試みでしたがたいへん有意義な研修となりました。

今回は、常盤中学校の木村芳和先生に研修懇談会の感想を寄せていただきました。

「中学校の玄関を出ると、部活動終えた生徒が元気に『さようなら』と声をかけてくれる。国道へ向かう坂の途中で卒業生と会う『元気かい』。角の花屋さんには教え子のお母さんがいる『こんにちは』。バス停では合唱コンクールを見に来てくれたお年寄りが並んでいた『こんばんは』お元気ですか』。私の次に並んだのは卒業制作で忙しい市立札幌高専の学生さんだ『こんばんは、お疲れ様です』。

ここは芸術の森地区。「あいさつ」をせすにはいられないのだ。きまりではない。もちろん強制でも法律でもない。石山陸橋を越えたら、そこはもう「あいさつワールド」なのだ。「あいさつ」をしたいと思う心と「あいさつ」を受け止めようとする心が、温かく柔らかく優しく元気に広がっている。住んでいる人はもちろん、働いている人、学生さん、車で通り抜ける人々さ

えも、すてきな「あいさつ」を交わすことができる場所。

子どもたちを守り、育てることうを想うとき、「あいさつ」を機軸に据えた町づくりがあつてもいいのかもしれない。私の参加させていただいたテーブルでは、そんな話題で盛り上がっていました。「もっとみなさんとお話ししたい」となりました。

(Y・I)

十一月十三日 南区少年少女親善スポーツ大会 ドッジボール

(三・四年生の部)
常盤Y·E·S·B

準優勝

石山東バイソンズ
常盤Y·E·S·A

優勝

(五・六年生の部)
常盤Y·E·S·A

三位

今年も南区体育館で開催された南区少年少女親善ドッジボール大会に芸術の森地区から四チームが参加しました。

今年は石山東の五・六年生が優勝、常盤の三・四年生が準優勝と



ママサンバレーボールシニアチームのメンバー

輝かしい成績をおさめることができました。各チームの子どもたちはこの大会に向けて、地域の皆様・学校の先生方の応援の中で練習を重ね、自分たちの力を十分に發揮することができました。これからも子どもたちの輝く笑顔のために、地域の皆様のご支援、見守りをよろしくお願いします。

輝かしい成績をおさめることができました。

なずなチームが決勝まで行けましたのは、すばらしいチームワーク力なのでと思思います。

ここまで支えてくださった各チームの皆さん、応援の方々、連合町内会の皆様ありがとうございました。なずなチーム一同

おもちつき大会 楽しかった！おいしかった！

十二月十一日(日)常盤児童会館にておもちつき大会が開催されました。猛吹雪の朝でしたが、お天気も回復して二百六十名程の参加者が集いました。

みんなでおもちをついて、雑煮、おしる粉、きな粉、納豆、大根おろし、いそべ巻きなどが美味しく、お腹いっぱい、笑顔いっぱいのひとときでした。地域の皆様のご協力に心より感謝いたしました。ありがとうございました。



おもちつき大会・ヨイショ

入所サービス ショートステイ



みなさまの想いにおこたえいたします
医療法人 愛全会
介護老人保健施設
〒005-0849 札幌市南区石山837-47
と景の郷(薩摩)に集う第十七回
全国家庭婦人バレーボール・いそ
じ大会に出場し、予選リーグを勝
ち抜き決勝リーグに進みました。
集中力を欠く事なく決勝まで進
みましたが、惜しくも敗れ準優勝
で銀メダルを胸に帰社しました。
全国どのチームもレベルが高く、

アートヒルズ
居宅介護支援事業所併設(ケアプラン作成)
みんな しあわせ 365日
0120-348-365

通所リハビリテーション



常盤町地内会創立三十周年を迎えて

常盤団地町内会会長 関口 明



創立30周年記念式典

◆創立三十周年記念誌の発刊
六名の編集委員（佐藤繁一編集
委員長）の努力で、全五十四ページの記念誌を発刊することができ
ました。

できるだけ二十周年以降の歩み
を辿った内容としましたが、座談
会ではそれだけでは説明がつか
ず、過った部分もあります。

ここでは、平成七年に二十周年記
念行事がありましたので、その後十
年の町内会の歩み等について紹介さ
せて頂きます。

このたび、常盤団地町内会は創立三十周年を迎え、十月二日に式典が執り行われました。ここに町内会役員をはじめご協力を頂いた町内の方々、お祝いに駆けつけて頂きましたご来賓の方々に心から厚くお礼申しあげます。

さて、現在の住宅地は、水田と畑であったところが宅地化され、昭和四十七年に四戸が居住し同五年に四十三戸となり、七月に先輩の方々により町内会の設立総会がもたれ今日に至っております。

平成十七年の世帯数は四百五十八世帯となりましたが、近年伸びは鈍化しております。

◆むすび
三十周年記念は、私たちの諸先輩が築いてくれた足跡を総括し、これから町内活動に活かしていく道筋を考え実行していく絶好の機会であり、今までの糧を、これから安全、安心のまちづくりに役立てたいと考えます。



女性部による炊き出しサービス

過去10年間の常盤団地町内会の主な事業・行事

常盤園地町内会

主な事業ならびに行事	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	備考
夏休みラジオ体操	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	中央公園で実施
七夕祭り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
防犯パトロール（夏休み期間中）								○	○	○		
子供盆踊り・盆踊り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
敬老会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
こども110番への参加呼びかけ								○	○			H18より町内会とPTAが協力体制へ
福祉推進員による独居老人安否確認						○	○	○	○	○	○	民生委員と協力
福祉推進員による昼食会の開催						○	○	○	○	○	○	民生委員と協力
ボランティア除雪						○	○	○	○	○	○	民生委員と協力
パートナーシップ排雪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	H12年12月常盤一区30戸余参加
春秋の町内一斉清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ごみステーションの点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ネットの補修・交換など
街路灯の点検	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	街灯の新設、点検など
がん検診の呼びかけと縷め	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
芸能文化祭					○	○	○	○	○	○	○	
東斜面開発状況確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	札幌市との情報交換等
新年交礼会・新春マージャン、カルタ大会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
雪像・カマクラづくり								○	○	○		

永久に生きる花と緑の明るい型地

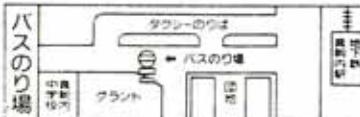
無料見学・墓参バス運行中

真駒内滝野靈園

札幌市認可園

お問合せ・
お申込みは

真駒内滝野靈園事務所 ☎(011)592-1223



第十一回芸術の森地区文化祭 作品数は三倍増



会場をほぼ埋めつくした数多くの作品



十一月二、三日の両日、芸術の森地区会館において開催された文化祭には、八十三名の方より百五十六点の出展がありました。このように出展が多くなった要因として、次のことが挙げられます。

一、町内会または老人クラブ主催の文化祭を行っている見晴、石山東、常盤団地町内会などからの出展が多く、加えてディサービスふれあい、同ふるさとのようにケ

テ、次のことが挙げられます。



ロックバンド演奏

募集中内容が目に止まつた。

四、会館管理の石原さんを中心とした菊づくりグループの応援があつた。

この成果を第十二回以降も定着させることが何より大切です。

アサービスを受けている方を対象に、墨絵教室などを開催しているところからの出展が多かつた。

二、文化マップに掲載されている文化人の方に、はがきによる協力依頼をした成果が現れた。



絵画・生花の展示

三、地区広報、芸術の森でページに掲載し、開催日ならびに

音楽祭

募集中内容が目に止まつた。

四、会館管理の石原さんを中心とした菊づくりグループの応援があつた。

この成果を第十二回以降も定着させることが何より大切です。



コラルラフォーレの皆さんによる合唱

手づくり音楽祭が定着

す飛躍し、永続するよう祈念しております。

第十一回の開催は十一月十九日の日曜日開催の予定です。皆様のご参加をお待ちしております。

日時 二月二十六日(日曜日)
場所 石山東小学校グラウンド
主催 芸術の森東地区
協賛 常盤小学校PTA

日時 二月二十六日(日曜日)
十時
場所 石山東小学校グラウンド
主催 芸術の森東地区
協賛 スポーツ振興会

第15回常盤スノーフェスティバル

雪中運動会

第十一回芸術の森東地区

公園での歩くスキーの集いとして始まりましたが、後に常盤小学校PTAの地区委員会との合同となり、地域と学校が一

体となつた楽しい冬の行事として定着しています。チューブ滑り、宝さがし等のゲームのほかに、地域の皆さん的心づくしの大鍋での豚汁、焼肉サービス、又、参加者のおみやげも多数用意されています。老若男女を問わず、住民の皆様の参加をお待ちしております。

競争、雪中ドッジボールなどの競技を予定しております。なお、競技中は豚汁のサービスとお楽しみ抽選会も行いますので、住民の皆様の参加をお待ちしております。



力を合わせてお手伝いします

地域のみなさまの在宅生活を支援いたします

ご相談は24時間お受けしております

札幌市南区在宅介護支援センター石山 芸術の森

〒005-0842 札幌市南区石山2条3丁目

TEL.011-592-7727

芸術の森地区青少年国際交流事業

ポートランド中学生と 芸術の森地区の小中学生との交流

平成十六年八月、札幌市とポートランド市の姉妹都市締結四十五周年を記念して行われた国際親善ジュニアスポーツ交流事業において、常盤中学校の三人を含む札幌市の女子中学生ソフトボールチームの十五人がポートランド市へ派遣されました。

これを受けた今回は、相互の交流をさらに深めようとポートランド市の中学生ソフトボールチームが来札しました。ソフトボールの試合を終えた平成十七年八月十三日は、当地区にある常盤中学校をはじめ常盤児童会館、芸森レストランでの昼食会、常盤公園での盆踊りなどに参加された地元の青少年との交流で楽しい一日を過ごされました。

◆市立常盤中学校では、ポートランド市の女子中学生十三人が、初めて書道を体験しました。小島逸



書道体験



折り紙づくり



筆を持つ手に力が入る



ボツボツ踊ろうか

関口雄揮 記念美術館が オープン

平成十七年七月末、南区常盤の芸術の森入り口の近くにオープンしました。この美術館ができて心に筆を運んでいました。常盤中学校の女子ソフトボールチームの人々が傍らで筆や半紙の準備を手伝い、打ち解けた雰囲気の中で書道体验が進みました。◆札幌市常盤児童会館では、子供たちがかわるがわる片言の英語で書道体验が進みました。

◆芸森センターのレストランでは、食事に使う箸の使い方の練習をし、何とか食事を済ませました。ご飯に醤油をかけて食べるところが入ったようです。

◆常盤公園で行われた盆踊りでは、ポートランドの中学生たちは、最初のうち珍しそうに盆踊りを見ていましたが、その場の雰囲気に慣れるにつれて、花柄の甚平などを着て踊りの輪に入り、地元の方や子供たちと一緒に踊つたりしていました。

中にはやぐらの上でたたく太鼓を珍しそうに見ていて、やぐらに登り太鼓をたたく中学生も現れました。

前日までの試合の疲れも取れたらしく、盆踊り終了時まで楽しんでいました。

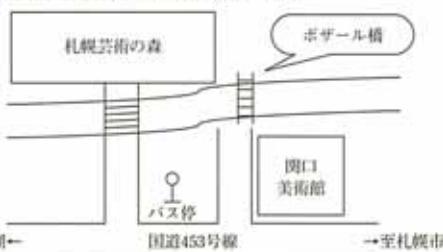
最後に、来日してから離日まで

長い間中学生の面倒を見て頂いたボランティアの方々をはじめ、当日々ご尽力を頂いた関係者の皆様に厚くお礼申しあげます。

ものを魅了し続けています。
美術館には、ライフワークである北海道の風景画をはじめ大作約二百点、小作約三千点を順次公開展示される予定です。

芸森地区にお住まいの方に限り割引きします

関口美術館（札幌市南区常盤3条1丁目）



①地区広報芸術の森を持参
②期間は本年三月末日まで。

は、次のことを守ってください。

	現行入館料	割引入館料
大人	1000円	600円
高専生	800円	500円
中高生	600円	300円
小学生	300円	無料

割引料金で入館する場合は、次のことを守ってください。

日本画壇を支える風景画家・関口雄揮先生は、一九二三年埼玉県美里町に生まれました。東京芸大日本画科を卒業し、一九五二年文部省よりフランスアカデミー・ランソンへ留学し、帰国後は風景画の第一人者である東山魁夷先生に師事しました。

四季折々の色彩ハイモニーをテーマに、大自然の美しさが響きあう風景画を、日展を中心に精力的に発表しています。

その後、一九七〇年に帯広在住の紫竹昭葉氏（紫竹ガーデン当主）と出会い、「北海道の絵がないのは残念」と、誘われるままに北の大地に足を踏み入れ、その大自然の厳しさと美しさに魅せられ、以来、頻繁に北海道を訪れては、十勝、知床やオホーツク、利尻、礼文といった極寒の風景と真摯に對峙しながら、行き着いた色彩が

